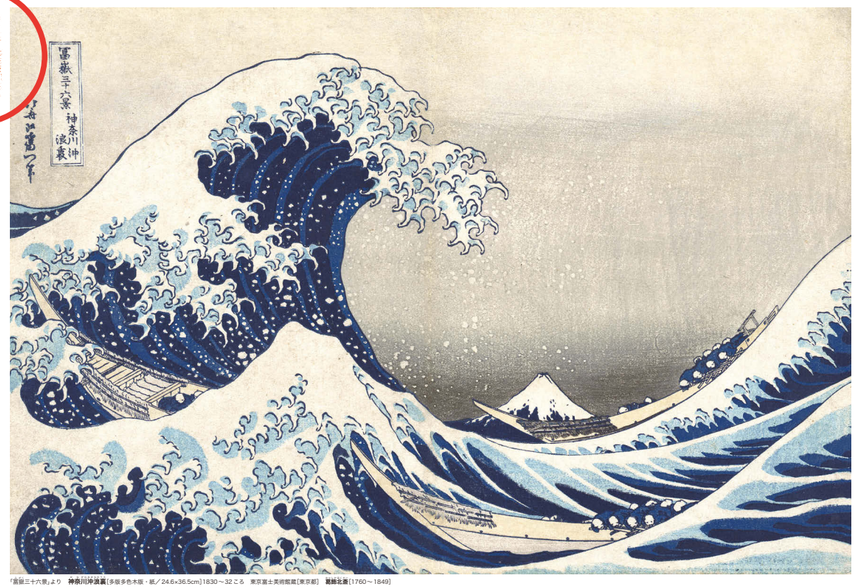
和紙で鑑賞する浮世絵

和紙（機械抄き）を使用したことで，触覚と視覚を働かせて，浮世絵の鑑賞をいっそう深めることができます。原寸大で葛飾北斎の名作「神奈川沖浪裏」と「凱風快晴」を味わうことができるようにページを構成しました。
また，仏像のページは通常の用紙ですが，日本美術の造形美を感じられるように，ダイナミックな紙面づくりにしました。

8ページ構成でしっかり学ぶジャポニスム

2・3上　P.24-31　「東へ，西へ…」

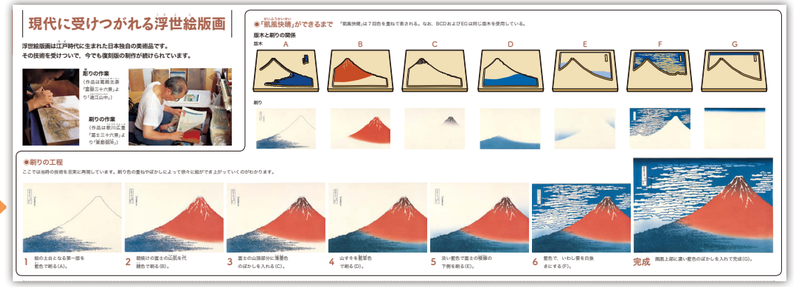
原寸大
「冨嶽三十六景」の2作品



『冨嶽三十六景』より　**神奈川沖浪裏**［多版多色木版・紙／24.6×36.5cm］1830～32ごろ　東京国立美術館［東京都］　**葛飾北斎**［1760～1849］
大きく せり上がる波の荒々しい"動"と，遠くに見える富士の"静"。手前の波の大きな三角形と遠くの富士の小さな三角形が適近の対比となり，画面に動きや奥行きを与えている。荒波が自然に流れて富士に導かれるように考えられた構図である。
参照 浮世絵については P.53～54「現代に受けつがれる浮世絵版画」も見てみよう。

技法は巻末の資料でしっかり学習！

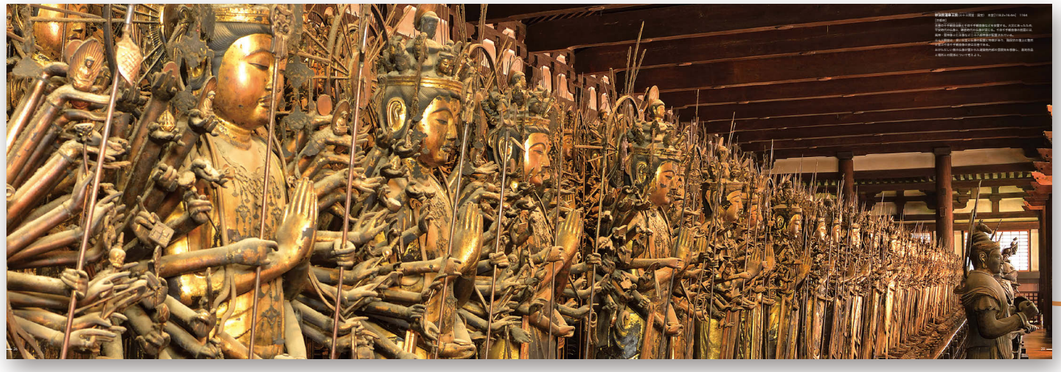
2・3上　P.53-54　「現代に受けつがれる浮世絵版画」



『冨嶽三十六景』より　**凱風快晴**［多版多色木版・紙／25.7×37.5cm］1831 以降　東京国立博物館蔵　**葛飾北斎**
白い雲がたびき乗い空を背景に，朝日に照らされ赤く染まっていく富士が，簡素で明快な形と平塗版法で描かれている。
刀の特徴を生かした彫り中，彫毛ぼかしという彫りの技法を用いるなど，当時の木版画の技法を駆使し神秘的で雄大な富士が表現されている。

3年生の心の成長に合わせて学ぶ仏像の美しさ

2・3下　P. 24-29　「刻まれた祈り」



2・3下　P.55　「仏像の種類」

仏像の種類は，巻末の資料で学ぼう！